

ほのぼのだより

3月の手話は「春がきた」です。

高野 辰之 作詞 岡野 貞一 作曲

春には沢山の唱歌があります。寒く厳しい冬の季節を乗り越え、やっと春が芽吹くこの時期。春を心待ちにした気持ちや情景を歌に込めて「春」に関する多くの春の歌が作られたのではないかと思います。歌詞の繰り返しが多く、同じ手話が続きますので覚えやすい1曲だと思います。

春の暖かな雰囲気の中、小学校への進学や次のクラスへの進級を期待し、たくさん歌っていきたいと思います。

① はるが



もものあたりから胸に向かって2、3度大きく風を送る仕草。

② きた

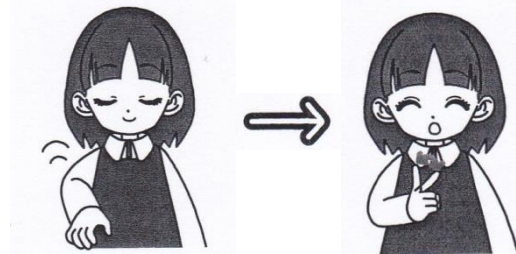


人さし指を下にして、体のほうへ引く。

③ 春が

①、②と同じ

④ きた

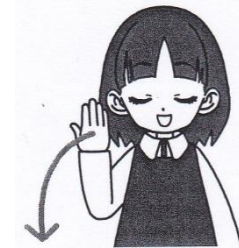


指先を曲げ、お腕をふせたような形の手を胸の前に出す。人さし指を1本立てて左右に細かくふる。

⑤ どこに

⑥ きた

②と同じ



手の甲を前に向けて、顔の横に立てた手を、前へパタンと倒す。

?

⑦ やまに



手で山の形を描く。

⑧ きた

②と同じ

⑨ さとに



両手指先をつけて、屋根の形を表す。

⑩ きた

②と同じ

⑪ のにも



手のひらを下にして、左から右へ半円を描く。

⑫ きた

②と同じ

⑬ はなが



胸の前で手首をつけて、手のひらを上へ向け、花の形をつくる。



⑭ さく



花を右手、左手、逆にねじるように動かす。

⑮ はなが

⑯ さく
⑰ どこに
⑱ さく

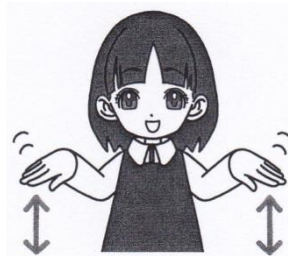
⑬⑭⑮⑯の繰り返し

⑲ やまに

⑳ さく
㉑ さとに
㉒ さく
㉓ のにも
㉔ さく

⑦⑭⑱⑲⑭⑱⑲⑭⑱の繰り返し

⑳ とりが



鳥がはばたく仕草。

㉑ なく



鳥がピヨピヨ鳴く仕草。

㉒ とりが
㉓ なく
㉔ どこで
㉕ なく

⑲⑱⑲⑱⑲⑱⑲⑱の繰り返し

㉖ やまに
㉗ なく
㉘ さとに
㉙ なく
㉚ のにも
㉛ なく

⑦⑭⑱⑲⑭⑱⑲⑭⑱の繰り返し